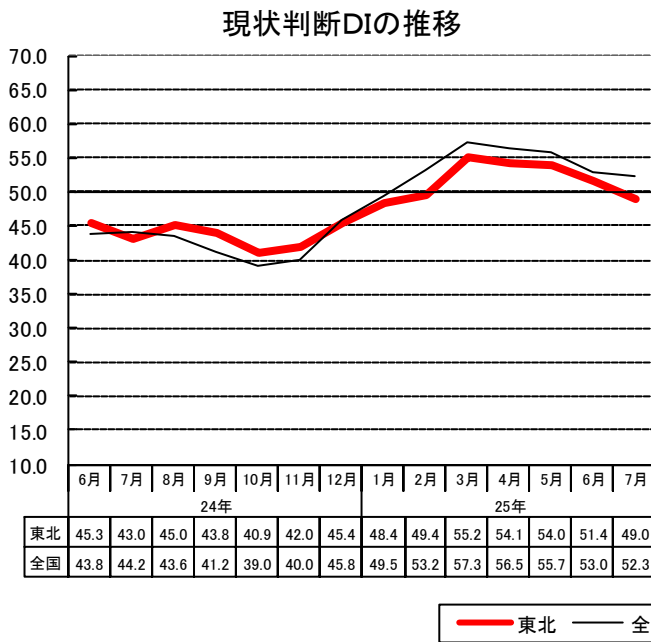


公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 25 年 7 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 25 年 7 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI「49.0」（▲2.4）は、4か月連続で前月を下回り、景気判断の基準となる 50 を 5 か月ぶりに下回った。



- ・家計動向…長梅雨により客足が鈍り、夏物商材の売上が減少している。また、参議院選挙により、飲食関係でマイナスの影響が出ている。DIは「47.6」（▲3.4）と4か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 5 か月ぶりに下回った。

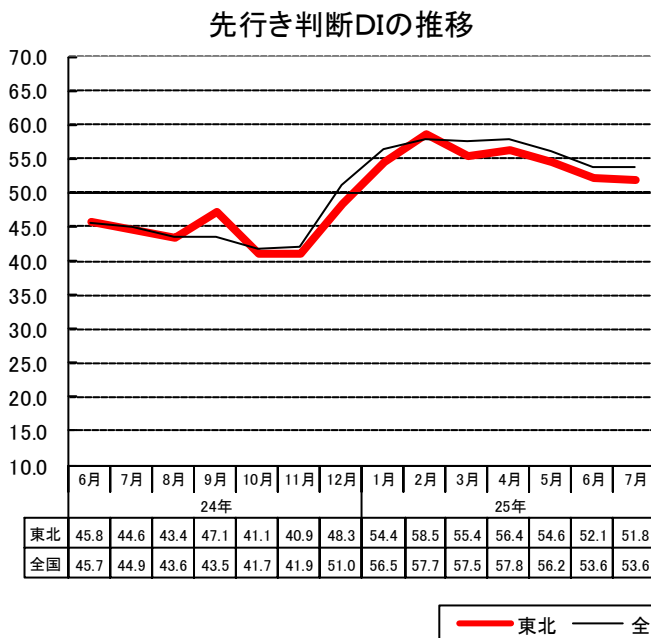
- ・企業動向…引き続き、景気判断がプラスの業種が多くなっている。DIは「53.0」（+1.2）と2か月ぶりに前月を上回り、基準値 50 を 7 か月連続で上回った。

- ・雇用動向…DIは「51.1」（▲2.3）と4か月連続で前月を下回ったものの、基準値 50 を 7 か月連続で上回った。

- ・プラスのキーワード：（なし）
- ・マイナスのキーワード：長梅雨

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI「51.8」（▲0.3）は、3か月連続で前月を下回ったものの、景気判断の基準となる 50 を 7 か月連続で上回った。



- ・家計動向…食料品等の値上げによる消費動向への影響が懸念されている。DIは「49.7」（▲0.6）と3か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 7 か月ぶりに下回った。

- ・企業動向…建設関連で消費税増税前の駆け込み需要が見込まれるほか、多くの業種で受注・販売環境の良化が期待されている。DIは「58.5」（+0.8）と2か月連続で前月を上回り、8か月連続で基準値 50 以上となった。

- ・雇用動向…DIは「53.4」（±0.0）と前月から横ばいで、基準値 50 を 8 か月連続で上回った。

- ・プラスのキーワード：（なし）
- ・マイナスのキーワード：物価上昇

<参 考>

■DIの推移※

(1) 現状判断(方向性)DI

	24年							25年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北現状	45.3	43.0	45.0	43.8	40.9	42.0	45.4	48.4	49.4	55.2	54.1	54.0	51.4	49.0
家計動向関連	42.7	41.0	43.4	42.1	41.0	41.1	45.7	45.3	46.4	53.6	52.6	52.1	51.0	47.6
企業動向関連	48.8	46.3	46.3	45.1	37.2	42.5	43.1	53.6	55.5	57.3	56.0	59.5	51.8	53.0
雇用関連(参考)	55.7	50.0	53.4	52.3	47.7	46.6	47.7	59.1	58.0	61.4	60.2	55.7	53.4	51.1

(2) 先行き判断DI

	24年							25年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北先行き	45.8	44.6	43.4	47.1	41.1	40.9	48.3	54.4	58.5	55.4	56.4	54.6	52.1	51.8
家計動向関連	43.8	43.3	40.2	46.2	40.2	39.2	47.4	52.9	58.4	53.6	54.7	53.5	50.3	49.7
企業動向関連	49.4	48.8	50.6	49.4	42.1	45.0	50.0	59.5	61.6	61.0	60.7	57.1	57.7	58.5
雇用関連(参考)	52.3	45.5	51.1	48.9	44.3	44.3	51.1	54.5	53.4	56.8	59.1	56.8	53.4	53.4

※DI (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成25年7月25日～31日

回答者数 208/210名、回答率99.0%(全国1,893/2,050名、92.3%)

以上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 佐藤(健))

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL: 022-222-3394 FAX: 022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（乗用車販売店）…新車の受注、販売共に法人需要と新型車効果に支えられ、回復局面に入ったものとみられる。しかし、やはり、エコカー補助金の反動を乗り越えることができず、下げ幅は圧縮傾向にあるものの、前年に対し10%前後の落ち込みとなりそうである。

（食料品卸売業）…県内都市部及び首都圏向けの出荷が好調である。逆に、郡部や地方では参議院選挙による飲食自粛などの声が聞かれ、出荷に伸びがない。

（職業安定所）…米国の大手金融機関の破たん前までの状況には遠く及ばないものの、新規学卒者対象の求人が増加するなど、企業の採用意欲がやや高まっている。

○「変わらない」

（商店街）…一部に中元商戦の効果が見られるという店もあるが、全体的には梅雨明けが遅れていることもあってか来街者は伸び悩み、まだら模様の景況である。

（スーパー）…客は商品を吟味して、必要なものしか買わない傾向がある。客単価が上がらず、厳しい状況が続いている。

（コンビニ）…来客数、客単価共に前年割れが続く、依然厳しい状況である。昨今の禁煙ブームか節約か、たばこの売上が減少している。また、悪天候の日が多く、アイスクリーム等の売上減が響いている。

（家電量販店）…今月前半は気温も暑くなり、季節商材の販売が順調に推移したが、中旬からの天候不順で販売が鈍化している。

（靴専門店）…梅雨が明けず気温が上がらないため、サンダル等の夏物商材の動きが止まっている。大手は夏物クリアランスを開始しているため、追随せざるを得ない。売上、利益共に減少が見込まれる。

（酒類専門店）…参議院選挙もあり、地元の飲食店に影響が出ている。仙台や東京等、都市部は特に影響がないので、そちらに重点的に営業を掛けた結果、前年と同じくらいの売上で落ち着きそうである。

（都市型ホテル）…客室部門は、例年夏休みに入るとファミリーを中心とした海水浴客でにぎわうが、現時点で梅雨も明けず天候不順が続く、それに伴い予約も伸びない。逆に、キャンセルや日程変更が見受けられる。

（通信会社）…来客数が極端に減っており、売上も前年比3割くらい低下している。

（美容室）…客単価は2月くらいからほとんど変わらない。いろいろやってはいるが、上乘せという部分はなかなか難しく、客の財布の締め具合に変わりはない。

（設計事務所）…住宅の新築の仕事が続いている状況だが、まだ罹災された方の移転新築が大半を占めている。

（住宅販売会社）…相変わらず消費税増税前の駆け込みもあり、受注量は安定している。ただし、建築単価が上昇しているため、客単価は変わらないが建築規模が若干縮小している。

（食料品製造業）…中元商戦中であるが、参議院選挙もあったことから売上はあまり芳しくない。

（木材木製品製造業）…住宅部材の受注量が調整局面に入っており、やや停滞している。

（一般機械器具製造業）…自動車部品については、売上は計画を上回る水準で推移している。しかし、価格についてはグローバルでの競争の激化により採算性が低下している。

（電気機械器具製造業）…受注量及び販売量は増加傾向だが、個人への影響はまだ小さい。

（金融業）…海フェスタやデスティネーションキャンペーンで活気付いてきている。メガソーラー関連は好調である。

（広告代理店）…選挙広報に関わる売上は増加したが、他の売上は伸び悩んでいる。

○「やや悪くなっている」

(百貨店) …今月はセールがある月だったが、競合店との影響や天候不順の影響もあって、売上高は前年に達しない厳しい状況が続いている。

(衣料品専門店) …東北地方はまだ梅雨明けしておらず、毎日曇りや雨で、夏らしい天候にならないことが影響し、盛夏物やリゾートタイプの衣料品が動いていない。

(高級レストラン) …北東北においては夏季の需要への期待があったが、低温と多雨、参議院選挙等々の影響もありしぼんでいる。同時にボーナスなどの経済的な期待も不足したことで、上向きな消費活動は一時休止状態である。

(観光型ホテル) …問い合わせは単価に関するものが多い。客はまず安価な物件から申し込んでいる。

(遊園地) …梅雨の長期化、天候不順で雨が続いたことの影響が大きく、前年を2割近く下回っている。子供会の動きも低調である。

(新聞社[求人広告]) …選挙のときは求人の動きが止まるというジンクスのとおり、やや回復気味に推移していた求人数の動きが今月はやや下降している。

○「悪くなっている」

(一般レストラン) …サクランボのできが良くなかったことや豪雨による断水など、エリアにとって致命的なことが立て続けに起こったため、財布のひもが固くなっているようである。

(コピーサービス業) …受注の絶対量が減少し、取引も小ぶりの取引が多くなってきている。震災以降、最悪の状況である。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(乗用車販売店) …今後夏から秋をめどに増税動向が加速すれば、今以上の消費マインド向上に繋がる。各社とも増税前にエコカーの新型発表があり話題も豊富である。

(観光名所) …天候不順により来客数は減っているが、客単価は上昇しているため、天候さえ戻り客さえ来てくれれば、前年を上回ることが期待できる。

(土石製品製造販売) …消費税増税前に住宅購入される方が目途として九月までに契約するので、その後しばらくは新築マンション工事や新宅工事に追われる。

(電気機械器具製造業) …受注量及び販売量は増加傾向が続くとみられる。好影響が企業から個人に伝わっていくことで、景気は徐々に良くなると考える。

(広告代理店) …デスティネーションキャンペーンの仕事が増えてくる。また、これまで増刷だった物件がリニューアルでコンペになることが増えてきているため、全体的に動きは活発になるとみている。

(金属工業協同組合) …見積の件数が増加傾向にあり、契約成立も増加しつつある。半導体関連が今後とも期待大である。ただし、依然として単価及び納期は厳しい。

○「変わらない」

(百貨店) …今月中元商戦の落ち込みのような特殊要因を除けば、顧客の購買意欲に大きな変化はなく、今後も堅調に推移していくとみられる。また、来年の消費税増税が早い時期に発表されれば、駆け込み需要が始まることも予測される。

(スーパー) …円安による油脂、調味料類、石油製品の値上がりにプラスして天候不順による野菜の値上がりも懸念される。現状では、景気が好転する材料は見当たらない。

(コンビニ) …ガソリン価格の高騰、輸入品の値上げ等で庶民の懐事情は悪くなる一方である。買い控え傾向は今後も続く。

(衣料品専門店) …梅雨明けが遅れ、残暑の予報が出ていることから、今後、秋物の立ち上がりが遅れることが予想される。

(ガソリンスタンド) …現状の末端価格が大幅に下がる可能性は低い。消費者の節約志向も続くため、大幅な需要増は望めず、現状のまま推移していく。農作物の生産も天候の影響と当県特有の原発の風評被害により消費の低迷が続いているため、一部除染関連の軽油等の需要増、建設の活発な需要増が燃料需要を後押しするとみられるが、現状を大幅には改善はできず、現状維持で推移する。

(一般レストラン) …株価の上昇などで、雰囲気は良くなっているが、実際に給料が増えないことには景気は良くなり、客も増えていかない。期待はしているが、今のところは難しいとみている。

(観光型旅館) …お盆やその後の連休などは先行して予約が入ってきているが、平日は予約がゼロの状態である。直前に予約が入るが、全体としては低調なまま、景気に変化の兆しはみられない。

(建設業) …消費税増税等で受注量が増えているが、将来的には技術者不足、資材の高騰という問題が出てくる。

(職業安定所) …管内の復興はまだ進んでおらず、状況は変わらない。求人、求職の動きも特別な動きは見えないことから、そのまま継続するものとみられる。

(民間職業紹介機関) …求人職種は相変わらず変化が無い。震災復興や福祉、運送等が多く、製造業は皆無に近い。

○「やや悪くなる」

(観光型ホテル) …現在の9、10月の入込は前年より3割程度少ない。魅力あるイベントも少なく、旅行客の動向が我々の方を向いていないようである。

(通信会社) …携帯電話はスマートフォン景気も一段落し、新商品もあまりぱっとしない状況である。新型iPhoneが9月か10月に発売されるが、それもあまり大きな盛り上がりは期待できない。

(美容室) …生活に必要な物が多々値上げされていけば、客はカットやパーマ代から節約していくと予想される。また、ガソリン代が高くなればなるほど、今まで遠くから車で来ていた客の来店回数も減ってくる。

(出版・印刷・同関連産業) …紙やインキなど、原材料が約15%値上がっている。この値上がり分を取引先にスムーズに転嫁できそうもないため、景気は悪くなっていくのではないかと。

(人材派遣会社) …顧客からの大量募集の話も無く、アルバイト、パート募集についても慎重な動きになってきている。

○「悪くなる」

(一般レストラン) …サラダオイルやてんぷら油などが一斗缶で1,000円くらい値上がるなど食材の値上がりも大きく、来客数もかなり減るのではないかと予想している。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上